

H29. 3. 28

長尾和宏 (ながお・かずひろ)
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る。総合診療を目指す。医学博士。近著「病気の9割は歩くだけで治る!」「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。58歳。



検査の結果、不整脈が全くないにも関わらず、「ある」と強く訴える人がいます。気のせい

「先生、脈が飛ぶんです」
そう訴えて来院される方が時々あります。どんな時、どれくらい飛ぶのか詳しく質問すると、「よく分からないけど、なんとなく」という人と、「食後に必ず1分間ほど」「夜明けにドキドキで目覚める」などと具体的な答える人がいます。

不整脈の診療では、医師は本当に不整脈があるのかどうかを考えて検査を進めます。通常の心電図に加え、24時間の心電図(ホルター心電図)の検査などを行い、詳しく調べます。最近、大病院では1週間分の心電図をすべて記録できる機械もあります。

Dr. 和の町医者日記



不整脈シリーズ②

なのでしようが、本人にとって「脈が飛ぶ感じ」は、生死に関わる大問題です。心臓の拍動に神経質になり、医療機関を訪ね歩く人もいます。しかし、横になったとき、姿勢によっては心臓の拍動を強く感じることは誰にでもあるのです。そんなときは「大丈夫。生きている証拠ですよ」と話しています。

もちろん、本当に不整脈がある場合もあります。ただ、命の心配はない不整脈が大半です。放置していても大丈夫なのですが、なかなか納得しない人もいます。「私自身も不整脈があるんですよ」と話すと、患者さんはいいてい驚かれます。健康な若者や赤ちゃんでも、24時間単位でみれば、多少の脈の乱れは必ずあります。不整脈が全くない人はいないのです。

人間の心臓は24時間に約10万回拍動しますが、小さな打ちそこないがあります。心臓の拍動は、心臓の右上にあり、ペースメーカーの役割を果たす「洞結節」が司令塔となつて、電気信号が心臓全体に伝わります。一拍一拍、その司令塔から命令が出て心臓を収縮させているのですから、すごい仕組みですね。しかし、一時的に司令塔の調子が悪くなったり、調子がよくても心臓内の電気信号の通路をうまく伝わらなかつたりする場合があります。あるいは、本来の司令塔以外に臨時の司令塔が出て、そこから命令が出た

人工ペースメーカー 電気刺激を加えることで、心臓を拍動させる装置。洞結節や刺激伝導系の機能を補い、必要に応じた脈拍数を維持する働きを持つため、「心臓の調律師」と呼ばれる。体内に埋め込んで使い、5年余りで電池の寿命がくれば交換する必要があるが、健康時とほぼ変わらない日常生活を送ることができる。

種類・頻度と治療の是非

さまざまな不整脈

司令塔自体の調子が悪くなることもあります。いずれにせよ、心拍数が20〜30台と異常に遅くなる徐脈になると、めまいなどの自覚症状が出て転倒の危険が高まるため、治療が必要です。このように、不整脈には震源地だけでもさまざまなあり、その上、頻度や連発があるのか、あるいはどれくらい連発するかなど、種類もたくさんあります。1日にたとえ何千発出ていても連発がなく、散発のみの場合や、めまいや動悸などの自覚症状がない場合は、治療の必要がないことが多いのです。

り、司令塔が複数になってしまつたりすることもあります。司令塔から出た電気信号は心臓の中央で右心室と左心室に枝分かれして伝わりますが、左右どちらかの伝導速度が遅い場合もあります。心臓は上半分の心房と下半分の心室に分かれており、正規の場所以外に司令塔ができ、それが心房にある場合を「上室性不整脈」、心室にある場合を「心室性不整脈」と呼びます。臨時の司令塔の場所で区分しているわけですが、心電図の波形をみれば一目瞭然です。また、心臓の上から下まで通る電気信号が、上半分と下半分の間で渋滞している場合は「房室ブロック」と呼ばれます。渋滞の程度も3段階あつて、第2段階の後半と第3段階には「人工ペースメーカー」という機械の力を借りることになります。司令塔自体の調子が悪くなることもあります。いずれにせよ、心拍数が20〜30台と異常に遅くなる徐脈になると、めまいなどの自覚症状が出て転倒の危険が高まるため、治療が必要です。